

## ICD-10一部改正に対する意見提出について

意見提出学会：日本糖尿病学会、日本泌尿器科学会、日本診療情報管理学会

提出意見数：11(継続審議1件を含む)

2011年 URC へ提出する意見：

○Title: overactive bladder (日本泌尿器科学会)

提案内容: #7 内容例示の充実(包含への追加)

N32.8 の内容例示に「overactive bladder」を追加する。

(理由) 2002年に International Continence Society (ICS)が診断基準を客観所見中心に置き換え、尿力学的検査を必須としなくなったため、本邦においては40歳以上の810万人が当疾患と診断されるといわれている。このように診断基準の変更から該当患者数が増加しているため掲載が必要である。

○Title: Artificial Heart(日本診療情報管理学会)

提案内容: #1新しいコードの追加

Z99 に「Z99.4 人工心臓依存」を新設する。

(理由) 人工心臓に依存した心不全患者が近年増加している。以前は心臓移植までの一時的治療であったが、最近では人工心臓が治療目的となっていることがある。これらの患者状態をコードする必要がある。

○Title: Adjustment and management of cardiac devices(日本診療情報管理学会)

提案内容: #7 内容例示の充実、等

・Z45.0 「心臓ペースメーカー」の調整及び管理を「心臓デバイス」の調整及び管理とする。

・内容例示の「心拍発生装置(バッテリー)の点検検査」を「心臓デバイスの点検検査及び調整」とする。

(理由) 現状ではペースメーカーのみではなくむしろ両室ペースメーカー、植え込み型除細動器、除細動機能付き両室ペースメーカー植え込みの患者が増加してきており、これに見合った統計が必要である。また、デバイス管理において電池消耗のみをチェックすることでは終わらず、さまざまな指標の調整を必要とすることから、変更を提案する。

○Title: Presence of cardiac implantable devices(日本診療情報管理学会)

提案内容: #7 内容例示の充実、等

・Z95.0「心臓ペースメーカーの存在」を「心臓植え込みデバイスの存在」とし、内容例示として「ペースメーカー、両室ペースメーカー、植え込み型除細動器、除細動機能付き両室ペースメーカーの存在」を追加する。

(理由) 現状ではペースメーカーのみではなくむしろ両室ペースメーカー、植え込み型除細動器、除細動機能付き両室ペースメーカー植え込みの患者が増加してきており、これに見合った統計が必要である。

○Title Type1diabetes mellitus、Type2 deabetes mellitus(日本糖尿病学会)

提案内容 コードの名称変更

現在 E10 インスリン依存性糖尿病の「包含」にある I 型、E11 非インスリン依存性糖尿病の「包含」にある II 型をそれぞれコードの名称とする。

(理由)医療用語の変更を反映する必要があるため

○Title: Rupture of cerebral arteriovenous malformation(日本診療情報管理学会)(昨年からの継続)

提案内容:#4 新しい用語の索引への充実

I60.8 その他のくも膜下出血にある内容例示「脳動静脈奇形の出血(破裂)」は脳内出血の頻度がより高いため、削除し、索引に以下の通り追加する(網掛け部分)。

Hemorrhage,hemorrhagic

— subarachnoid

— — from

— — — rupture of cerebral arteriovenous malformation I60.8

Hemorrhage,hemorrhagic

— intracerebral

— — in

— — — cerebral arteriovenous malformation I61.8